



2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月14日

上場会社名 K&Oエナジーグループ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 1663 URL <https://www.k-and-o-energy.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 緑川 昭夫
 問合せ先責任者(役職名) 総務部マネージャー(氏名) 石田 広成 (TEL) 0475-27-1011
 四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	72,390	△4.3	7,394	33.6	7,892	33.4	4,800	33.5
2022年12月期第3四半期	75,646	66.1	5,533	66.9	5,915	64.0	3,596	51.1

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 5,887百万円(49.6%) 2022年12月期第3四半期 3,934百万円(33.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	180.34	179.41
2022年12月期第3四半期	135.28	134.51

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	107,259	91,063	82.6
2022年12月期	109,823	86,385	76.6

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 88,550百万円 2022年12月期 84,080百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	15.00	—	17.00	32.00
2023年12月期	—	17.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	21.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2023年12月期の期末配当金につきましては、前回予想の1株当たり17円に、4円を加えた21円とする配当予想に修正いたしました。詳細につきましては、本日(2023年11月14日)公表いたしました「2023年12月期(第10期)配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	95,600	△10.0	8,600	17.7	9,400	18.5	5,700	19.6	214.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期3Q	28,336,061株	2022年12月期	28,336,061株
② 期末自己株式数	2023年12月期3Q	1,705,304株	2022年12月期	1,736,853株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期3Q	26,620,535株	2022年12月期3Q	26,587,810株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社グループの業績は、ガス事業の比重が高いことから、その性質上、気温などの影響により著しい季節的変動があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の売上高については、主にガスの販売量が減少したことなどにより、4.3%減少の72,390百万円となりました。一方、営業利益については、好調な市況を背景としたヨウ素販売価格の上昇などにより、33.6%増加の7,394百万円、経常利益については33.4%増加の7,892百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益については33.5%増加の4,800百万円となりました。

増減の比較については、全て「前年同期」との比較であります。また、当社グループの業績は、ガス事業の比重が高いことから、その性質上、気温などの影響により著しい季節的変動があります。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

<ガス事業>

輸入エネルギー価格の影響によりガス販売価格が上昇したものの、発電用途でのガス販売量が減少したことなどにより、売上高については10.3%減少の58,102百万円、営業利益については6.5%減少の4,269百万円となりました。

<ヨウ素事業>

好調な市況を背景に、ヨウ素販売価格が上昇したことに加え、為替も円安で推移したため、売上高については46.5%増加の8,453百万円、営業利益については66.9%増加の4,878百万円となりました。

<その他>

建設事業・電力事業の売上高が増加したことなどにより、売上高については14.2%増加の5,833百万円、営業利益については73.0%増加の852百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

なお、増減の比較については、全て「前連結会計年度末」との比較であります。

<資産の部>

流動資産は受取手形、売掛金及び契約資産の減少などにより、6.5%減少の40,139百万円となりました。また、固定資産は0.4%増加の67,120百万円となりました。以上の結果、資産合計は2.3%減少の107,259百万円となりました。

<負債の部>

流動負債は支払手形及び買掛金の減少などにより、40.9%減少の10,417百万円となりました。また、固定負債は0.3%減少の5,778百万円となりました。以上の結果、負債合計は30.9%減少の16,195百万円となりました。

<純資産の部>

純資産合計は利益剰余金の増加などにより、5.4%増加の91,063百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の見通しについては、2023年8月14日付の「2023年12月期第2四半期決算短信」で公表いたしました連結業績予想から変更ありません。詳細については、2023年8月14日付の「2023年12月期第2四半期決算短信」をご参照ください。

また、2023年12月期の期末配当金については、前回予想の1株当たり17円に、4円を加えた21円とする配当予想に修正いたしました。詳細については、本日(2023年11月14日)公表いたしました「2023年12月期(第10期)配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,572	12,871
受取手形、売掛金及び契約資産	14,924	9,040
有価証券	2,999	13,544
棚卸資産	1,754	2,411
その他	1,708	2,277
貸倒引当金	△9	△6
流動資産合計	42,949	40,139
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,841	9,442
機械装置及び運搬具（純額）	18,445	17,411
その他（純額）	12,139	13,569
有形固定資産合計	40,426	40,423
無形固定資産		
	1,553	1,492
投資その他の資産		
投資有価証券	12,282	13,275
その他	12,644	11,962
貸倒引当金	△34	△34
投資その他の資産合計	24,893	25,204
固定資産合計	66,874	67,120
資産合計	109,823	107,259
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,233	5,726
引当金	57	64
未払法人税等	2,015	1,182
その他	5,332	3,443
流動負債合計	17,639	10,417
固定負債		
退職給付に係る負債	4,433	4,221
引当金	250	223
その他	1,114	1,332
固定負債合計	5,798	5,778
負債合計	23,438	16,195

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,000	8,000
資本剰余金	13,915	13,943
利益剰余金	62,466	66,362
自己株式	△1,230	△1,208
株主資本合計	83,151	87,096
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	672	1,177
退職給付に係る調整累計額	256	275
その他の包括利益累計額合計	929	1,453
新株予約権	195	178
非支配株主持分	2,109	2,334
純資産合計	86,385	91,063
負債純資産合計	109,823	107,259

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	75,646	72,390
売上原価	62,989	57,469
売上総利益	12,656	14,920
販売費及び一般管理費	7,122	7,526
営業利益	5,533	7,394
営業外収益		
受取利息	164	215
受取配当金	138	215
その他	122	137
営業外収益合計	425	568
営業外費用		
寄付金	35	53
その他	7	17
営業外費用合計	43	70
経常利益	5,915	7,892
特別損失		
減損損失	—	34
固定資産除却損	173	146
特別損失合計	173	181
税金等調整前四半期純利益	5,742	7,711
法人税等	1,786	2,354
四半期純利益	3,956	5,357
非支配株主に帰属する四半期純利益	359	556
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,596	4,800

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	3,956	5,357
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△70	511
退職給付に係る調整額	48	18
その他の包括利益合計	△21	530
四半期包括利益	3,934	5,887
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,577	5,324
非支配株主に係る四半期包括利益	356	562

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

当第3四半期連結累計期間
(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」といいます。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取り扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。

これにより、取得価額をもって四半期連結貸借対照表価額としていた一部の投資信託等については、時価をもって四半期連結貸借対照表価額とすることに変更しております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響額は軽微です。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ガス事業	ヨウ素事業	計				
売上高							
顧客との契約 から生じる収益	64,769	5,768	70,538	5,107	75,646	—	75,646
外部顧客への 売上高	64,769	5,768	70,538	5,107	75,646	—	75,646
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	274	104	379	22	401	△401	—
計	65,044	5,873	70,917	5,129	76,047	△401	75,646
セグメント利益	4,566	2,923	7,489	492	7,982	△2,448	5,533

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設事業及び器具販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,448百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,540百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ガス事業	ヨウ素事業	計				
売上高							
顧客との契約 から生じる収益	58,102	8,453	66,556	5,833	72,390	—	72,390
外部顧客への 売上高	58,102	8,453	66,556	5,833	72,390	—	72,390
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	282	80	362	60	422	△422	—
計	58,384	8,533	66,918	5,894	72,812	△422	72,390
セグメント利益	4,269	4,878	9,147	852	9,999	△2,605	7,394

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設事業及び器具販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,605百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,652百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「その他」セグメントにおける電力事業用資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては「その他」セグメントにおける電力事業用資産34百万円であります。